



なごむ 和

なごむ
No.436

1

2025年1月10日
大泉町公民館だより

2025
令和7年



はなみずき通り

ごあいさつ

大泉町公民館長 小林 勲

明けましておめでとうございます。
本年も大泉町公民館をよろしく
お願いいたします。

本公民館の竣工は、昭和48年3
月31日で、ちょうど私が小学校に
入学する頃でした。

私のなかで一番古い本公民館の記
憶は、小学校3年生か4年生の頃
に学校行事の写生大会で青少年広
場から公民館建物の全景を描いた
ことです。

その後は、就職するまで本公民
館に縁がありませんでした。その
間にテニスコートがあったことな
どは思い出すことができません。

本公民館の建物は、増改築、耐
震補強工事、エアコン設備の更新な
どを経て、竣工から約52年たった現
在も多くの方に使われております。
今後も、設備の更新などを行い、
皆さんに安全安心にご利用いた
だきたいと考えておりますのでよ
ろしく申し上げます。

あなたの故郷（ふるさと）どこですか？

日本全国ふるさと発見!! 岩手県一関市② 《完》

◆ふるさと自慢

「ふるさとのまつり」

8月初旬には、一関夏まつりがあり、3日間開催されます。一日目は、磐井川^{いらいがわ}開き花火大会。二日目は太鼓巡行、くるくる踊り大パレード、こちゃこい踊り。三日目は、銀座大龍神巡行、大一関神輿祭、磐井川創作太鼓共演と3日間にわたり、様々なことが行われます。屋台も種類豊富でとても賑わい、小さい頃は毎年のように浴衣を着て行っていました。

くるくる踊りは、「今日もくるくる明日もくる」と幸せがくることを祝った民謡《くるくる節》をもとに創作された、市民が参加できる踊りです。

こちゃこい踊りは、市町村合併で広域となった一関市全域で

「共有できるものを」ということで考案された踊りです。

◆ふるさとの心に残る風景

・青の洞窟

一関市から少し離れますが、岩泉町にある「龍泉洞」。日本三大鍾乳洞に数えられ、国の天然記念物にも指定されています。全容に至っては、5,000m以上に達するとされる巨大な鍾乳洞です。

洞内ではこんこんと湧き出る清水が地底湖をつくり、第3地底湖は水深98m、未公開の第4地底湖に至っては、120mと日本一の深さです。その透明度は、世界でも有数の高さを誇り、イタリアの名所《青の洞窟》を思わせるような、澄み切った深い青が由来で、「青の洞窟」と言われています。

・秋の紅葉

こちらも一関市から少し離れますが、盛岡市の盛岡城址（岩手公園）。北上川、栗石川、中津川を自然の濠に利用し、かつては不來方城^{こずかたじょう}と呼ばれていたお城で、紅葉でも有名です。もちろん紅葉だけではなく、春は咲き誇る桜を愛で、夏は生い茂る緑の木陰で涼み、秋には燃えるような紅葉のじゆうたんを踏みしめ、冬は真白い雪に覆われた石垣を眺めながら散策。盛岡城址の四季が私は大好きでした。

・夜見上げたときに見えた星

一関市は、かつて「星空の街」に選ばれたほど星がきれいに見えます。「きらら室根山天文台」がある標高895mの室根山は、頂上付近に障害物も無く、三六〇度、見渡す限りのパノラマが楽しめます。



◆大泉町の好きなところ

- ・人が優しい
- ・落ち着く雰囲気
- ・個性豊かなお店が沢山ある

〈N・H〉

◆観光名所

厳美溪^{げんびけい}・旧沼田家武家住宅^{むくさ}・釣山公園^{つりやま}・憊草神社^{もくさ}／大部ヶ岩^{だいたいがいわ}・栗駒山^{くりこまやま}（須川岳）・浦しま公園

わたしとバスケットと友達



北小5年 ゆき
佐々木 結姫

わたしは今がんばっていることは、バスケットです。

小学三年生からミニバスをやっている、休みの日はあまりないけれど、わたしはがんばっています。わたしの好きなことは、シュートです。理由はシュートが入ったらとてもうれしいからです。だけどシュートの練習だけじゃ試合には勝てないので、パスやドリブル等を使って点を取りたいです。そのために今、たくさん練習をがんばっています。

今は試合には出られているけど、あまりシュートに行けていないので、もっと練習をして、どんどんパスをもらってシュートに行きたいです。バスケの友達や学校の友達を合わせると、数えきれません。バスケはみんなで力を合わせるから仲よくなくてはいけません。そして、わたしにとって、一年生から六年生までみんなが大切な友達です。これからみんなと仲よくして、バスケットの上たつ、そして友達を増やしていきたいです。

ちよつといひ話

私が中学生の頃、明治生まれのおじいちゃんから手札サイズの写真を渡された。

私は、私が幼かった頃に他界したおばあちゃんかと思ったら、そうでは無いと言う。

おじいちゃんの初恋の人かと聞いたらそれも違うと言う。

その写真は、女優原節子のブロマイドだった。形見分けの一环としておじいちゃんが私にくれたのだと思い、それ以降お守り代わりにずっと持っていたのだが、最近になって見つからなくなってしまった。

原節子のブロマイドを見るたび寂しかったけど楽しそうなおじいちゃんを思い出した。

結婚したときも、そのブロマイドを見ながらおじいちゃんに報告した。子どもが生まれたときにもそうした。初孫が出来たときも以下同文・・・おじいちゃんが旅立ってもう50年になる。

今でも時々、原節子の画像を見るたびに彼女の出演作ではなく、私はおじいちゃんを思い出します。今度の休日には墓参りしておじいちゃんに会いに行こうと思う。

(A・S)

令和6年度 生涯学習講座

引っ越すあなたへ



- 引っ越しを控えている方
- 新年度に向け整理整頓したい方
- 職場の移転予定がある方

この機会に、プロの整理収納についての技術を学んでみませんか。



日時: 令和7年2月22日(土)

午前10時~11時30分

会場: 大泉町公民館 大会議室

講師: ぐんま整理収納サポートここから

対象: どなたでも参加できます

定員: 先着20人(定員になりしだい締め切り)

参加費: 無料

※1月31日(金)から、町公民館へ直接または電話で申し込む。



公民館図書室 新刊図書のお知らせ



●アレの正しい使い方図鑑
知ればもっと役立つ暮らしの道具
(東京トリセツ研究会)

●マンガでわかる! 地方議会のリアル
(野村憲二)

●腸から生まれ変わるカラダ
(小林弘幸)

●一生スタスタ歩ける体になる
整形外科ヨガ (井上 留美子)

●古生物のせかい 奇妙な生き物のオンパレード
(甲能直樹)

●1年で300万円貯まる超節約術
ストレスフリーで楽しく実現!
(4人家族の主婦びーち)

●家事を10倍ラクにするコツ2009割の人が知らなかった
(オレンジページ)

●70歳からの手ぶら暮らし
(松原惇子)

●一年間のイベント手作り工作
子どもも大人も楽しくクラフト&ディスプレイ!
(1/0編集部)

●救いたくない命: 俺たちは神じゃない2
(中山祐次郎)

●ビジュアル図鑑 日本の神々
(志水義夫)

●ぼくはせかいいちしあわせなねこ
(つがねちかこ)

第41回 公利連サークルフェスティバル

●期日:2月15日(土)・16日(日)

●会場:洋泉興業大泉町文化むら

【作品展示】

入場無料

【コンサート】

入場無料

(町公民館窓口にて
入場券を配布します)

●展示ホール棟・

大ホール棟 展示コーナー

書研同好会・華泉書道会・あそびの会
大泉きりえサークル・デッサンサークル

15日(土)午後1時～午後5時

16日(日)午前10時～午後4時

●大ホール(全席自由)

出演サークル:7サークル

ミニリサイタル:いずみ吹奏楽団

16日(日)午後1時開演

(午後0時30分開場)

※16日(日)は、
手づくりお菓子の
販売があります。

▼昨年の様子▼



■主催:大泉町公民館利用サークル連絡協議会 ■共催:大泉町公民館 ※お問い合わせ等くわしくは 町公民館 ☎(62)2330まで。

年頭雑感

明けてまして

おめでとうございます



去年は、元旦から「地震」と「飛行機事故」で始まり政界にも激震が走った1年でした。今年には皆さんが笑顔で安心して過ごせる新年になりますように。

(章)

「サンデー毎日」朝起きて今日は何をしようかと悩むのがないやいや、健康寿命に残された時間は少ない。悩んでいる暇は無い、やりたいことはいっぱいある。

(卓)

今年はどうな年になるだろう。調べてみると、「成長と結実の可能性が高い年」と。もちろん努力し続けて来た人に、だな。コツコツがんばる大切さを痛感した。

(政)

昨年はコロナスपीにとつて最高の年でした。レベルアップして、今年は全国大会をめざすぞ!

夢は大きく、望みは高く、光る一年でありたい。

(和)

新しい事をはじめするには、勇気と体力が必要だ。今年はどうな出会いがあるだろう? 「健康」を合い言葉にさあ一歩!!

(京)

今年はい巳年、「巳」と「実」をかけて実を結ぶ年になるとも言われている。

「和」は皆様からの情報を元に企画編集。編集時は常に学ぶことが多く、実のある時間です。紙面にも実のあるものを伝えていきたい。

(ひ)

去年は能登半島の地震から始まり、多様な問題部分色々。今年からこそ、誰もがルールを守り、毎日の生活に不安なく過ごし、子ども達も何も心配なく安心して生活していける国になってほしい。

(浩)

いよいよこの季節がやってきた。テレビから流れてくる各地の積雪情報を聞いていると、気分はもうゲレンデにいたい!! 今シーズンも体力の許す限り、スキースキー!

(艶)

本年も「和」をよろしくお願ひいたします。

編集委員一同